

Newsletter Citizen's eyes vol.31

2023 年 5 月 28 日発行／ジャーナリズムを考える市民連絡会とやま

連絡先 ☎ 090-4680-6336 <https://civic-journalism.wixsite.com/mysite>

『Journalism』最終号・特集「戦争の盾 ジャーナリズムの責任」

朝日新聞が発行していたメディア専門誌が今年の3月号で最終号を迎えた。最後の特集は、最近よく耳にする「新しい戦前」の前に、「戦争とジャーナリズム」を真正面に据えた特集を組んだ。ジャーナリズムの役割について、鉛筆で線を引いた箇所がいくつもあった。巻頭言に「ジャーナリズム報道の松明は朝日新聞本紙とデジタルに引き継ぐ」と書いてあった。期待したい。(お)

ジャニーズ性暴力問題と大手メディア報道

～ジャニーズ性暴力疑惑とメディア元文春記者に聞く、23年間の絶望
& コメントプラス～

堀江 節子

朝日新聞デジタル（2023年5月22日）に表記の記事が載りました。これについては様々なメディアですでにご存じだと思うので記事を掲載しないで、コメントプラスの、マライ・メントラインさん（よろず物書き業・翻訳家）の【視点】＝「大手メディアが書けなかった理由」について、私の意見を交えて紹介する。

【視点】

この記事、見出しとともにダイジェスト的に、「大手新聞が書けなかった理由は、深刻な人権問題だ」という認識が薄かったためでしょう」という一文を載せて紹介したページもあり（筆者は読んでいない）、それを見たとき私は、先入観として「いやいや、それはジャニーズ事務所を敵に回すのが怖かった、大マスコミ側の弁明含みの見解でしょ」などと思っていたのだが、実際に記事を見て驚いた。まったく違う。われわれ読者が想定するすべての「利害的な悪の構図」を踏まえた上で、中村竜太郎さんは「報道エリート意識が人権認識をゆがめている」という深い実感をこめてあの言葉を発しているのだ。そういったマスコミのエリート意識は昨今、特にネットで強烈な突き上げを食らっている。が、正直、今なおその核心部分を直視しながら、90年代的な知的「既得権」感覚に浸ったままの人士が少なくない。それが残念な実態だ。彼らの本音は「我が亡き後に洪水よ来たれ」なのか。それが悪目立ちしたままでは、いつまでたっても「マスコミの凋落」に歯止めはかからないだろう。ぜひ何とかしていただきたい。

自己批判から始めよう。今回の性暴力事件を知って、ひどい話だが芸能界にありがちのことだとスルーしていた。ジャニー氏に気に入られなければデビューできないのだから、被害者も納得ずくの通過儀礼だと思った。しかし、大手新聞やNHKその他のキー局でも取り上げられるようになり、子どもの夢を利用して性的搾取を行う人権問題であり、大手メディアの向き合い方が問題だと理解した。

週刊文春が最初に報道してから23年、この間に性加害裁判の有罪判決もあり、ジャニー氏は事実を否定しなかった。だが、大手メディアはこの問題を取り上げなかった。そのため、社会問題にはならなかった。今年3月にBBCが放映したことで、ようやく朝日新聞も4月15日付、5月16日付の社説で取り上げ、NHKもクロウズアップ現代で放送して多くの人が知ることとなった。

5月22日の記事は、メディア問題について元文春記者の中村竜太郎さんにインタビューしたものである。中村さんはメディアに取り上げられなかった理由として、「テレビ局とスポーツ紙についていえば、ジャニーズ事務所との商売上の利害関係が構造的に強かったためだと思います。NHKは公共放送ですが、やはりジャニーズにべったりでした。人気のあるタレントを番組に取り込むため、つまりキャスティングのためにジャニーズに忖度しているのだと私は見ます。…」「大手新聞が書けなかった理由は、深刻な人権問題だ」という認識が薄かったためでしょう。…加えて、週刊誌が報道したことを新聞が取り上げるなんて恥ずかしいという意識もあったかもしれません。背景には『週刊誌の書いていることなんてウソだ』という偏見がありそうで

す」と話す。「ジャニーズ事務所という権力を十分に監視できず、問題を是正できなかった責任が私たちにはあるのだと、自戒も込めて思っています。… 事実を集めて伝えることによって法律や社会の意識を変えていくという役目がメディアにはあるはずだと思うからです」

以上のような中村さんの発言を引き出したにもかかわらず、朝日新聞がこの問題をどう考えているのか、“いまのところ” 応え／答えがない。マライ・メントラインさんは、「中村竜太郎さんは『報道エリート意識が人権認識をゆがめている』という深い実感をこめてあの言葉を発している」と書くが、私は、トップだけでなく報道エリートである一人ひとりの記者がこの問題をどう考え、再発を防止するのか、問うべきと思う。

また、同じコメントプラスで、たかまつななさんは、ジャニーズ事件と酷似した、BBC の司会者が性加害を行っていたことが死後に発覚して、問題になった時、BBC は第三者委員会を作り再発防止のために 200 ページにわたる調査結果を発表したと書く。これがメディアとしての責任の取り方ではないかと思う。同じことはジャニーズ事務所にもいえる。メディアに君臨する芸能事務所のボスの、少年への性加害なのだから。

先にも書いたように、芸能界で起きる性加害やパワハラなどの人権侵害に対しては、許容度が高い。権力をもつ者が加害者なのだから、弱者である被害者の人権を中心に問題をとらえることが肝要である。同時に、メディアに対しては、社会意識を変えるような批判的な報道を行うよう問いかけたい。

朝日新聞デジタル > 記事

ジャニー喜多川氏の性加害問題

ジャニーズ性暴力疑惑とメディア 元文春記者に聞く、23 年間の絶望

有料記事

聞き手 編集委員・塩倉裕 2023年5月22日 15時00分



コメントプラス

マライ・メントラインさんなど 5 件のコメント



中村竜太郎さん

ジャニーズ事務所の創業者、ジャニー喜多川氏（2019年に死去）による所属タレントへの性暴力疑惑。いち早く追及したのは、1999～2000年に掲載された週刊文春のキャンペーン報道だった。

それから二十数年。取材班の一員だったジャーナリストの中村竜太郎さんは「見て見ぬふりをし続ける日本のメディア」を批判してきた。「23年間、私は絶望したままです」と最近発言したことで話題になっている。メデ

← 5月22日に朝日デジタルに掲載された「ジャニーズ性暴力疑惑とメディア 元文春記者に聞く、23 年間の絶望」記事の一部

本の紹介 「公共放送 NHK はどうあるべきか」

この本は、昨年暮れ、官邸主導の NHK 会長決定の流れを食い止めるために、NHK 会長の任期終了を前に数か月にわたって行われた、市民による NHK 会長推薦運動「前川喜平さんを次期会長に！」の記録をまとめたものである。

11 月初めの推薦運動のスタート記者会見、11 月の末の渋谷の NHK 玄関前の街頭宣伝、12 月初めの「公共放送 NHK はどうあるべきか」シンポジウムの開催など短期間だが多彩な運動を繰り広げ、集まった賛同署名数は、ネットと紙の署名併せて 4 万 6116 筆となり、1 月 NHK に提出された。

残念ながら、結果は新会長には元日銀理事が任命され、市民の声に背を向けた決定がされたが、この本には運動の中で指摘された NHK の現状の問題や課題が記録され、特に 20 ページにわたり「NHK 現場職員の声」も載っており注目したい。今後の NHK 問題を考える上での貴重な資料になっており、メディア問題に関心を寄せる多くの市民に読んでほしい一冊だ。（大島）
《著者：市民とともに歩み自立した NHK 会長を求める会／定価 2000 円》



《コラム》 沖縄のいま (22)

「沖縄県差別のない社会づくり条例」施行 なにが「沖縄ヘイト」を煽っているのか。

小原 悦子

「沖縄県差別のない社会づくり条例」が3月30日、沖縄県議会で賛成多数（賛成 29、反対 18）で成立し、4月1日から施行された。反対した沖縄・自民党は、対象に「県民」を含めることや条文の定義のあいまいさを反対の理由としたが、条例の趣旨そのものに異論があるわけではない。同条例は、2016年制定の「ヘイトスピーチ解消法」を「沖縄ヘイト」にまで対象を広げたといえる。ただ、罰則規定は設けられておらず、反ヘイト活動を続ける市民からは、「はじめの一步」との評価もある。

県条例第3条「基本理念」において、〈…何人も人種、国籍、信条、性別、性的指向、性自認、社会的身分、出身その他の事由を理由とする不当な差別をしてはならない〉と規定し、第9条で〈県は、県民であることを理由とする不当な差別的言動の解消に向けた施策を講ずる〉と踏み込んだ。

ちなみに、富山県には「ヘイトスピーチ解消法」に関連した条例はない。

7年以上前から那覇市庁舎前で、中国や韓国の人たちに対するヘイト街宣が繰り返されていた。観光客が行き交う那覇市の中心地でのヘイトスピーチは、耳を塞ぎたくなるほど人を酷く貶めるものだった。

それに対して、市民らが自発的に毎週水曜日のお昼に市庁舎前に集まり、反ヘイトのアピールを続けてきた。市民グループ「沖縄カウンターズ」としてSNSでも発信している。沖縄タイムスの阿部岳記者も積極的に取材し、自らもヘイトスピーチに曝されながら発信してきた。

「沖縄カウンターズ」は2020年7月、県にヘイトスピーチ規制条例の制定を要請した。この活動が発端となって県条例につながった。

沖縄に対するバッシングやヘイトスピーチはネット上だけでなくメディアでも度々取り上げられ、沖縄2紙はその都度ファクトチェックし、事実を伝えてきた。

「建白書」東京行動

2013年1月、オスプレイ配備撤回と米軍普天間飛行



《「沖縄カウンターズ」ツイッターより》

場の県内移設断念を求める「建白書」を携えて沖縄全41市町村長と議会議長らが政府へ要請行動を行った。その前日、日比谷野音で集会を開き、銀座をデモ行進した際、街頭では日の丸や旭日旗を掲げた一団が沖縄の代表団に向けて「非国民」「売国奴」「中国のスパイ」「日本から出ていけ」と罵声を浴びせた。

自民党議員の勉強会でも

2015年6月、自民党議員の勉強会で講師の百田尚樹氏が「沖縄の二つの新聞社はつぶさなあかん」「もともと普天間（基地）は田んぼの中にあつた。周りは何もない。基地の周りが商売になるということで、みんな住みだした」などと沖縄2紙への偏見と間違えた言説を講義した。

北部訓練場ヘリパッド工事でも

2016年夏から秋にかけて、米軍北部訓練場の過半の返還の条件としてヘリパッド造設工事が強行された。反対する市民らを規制するために動員された大阪府警機動隊の隊員が、市民に向けて「土人」「シナ人」と差別丸出しの発言をした。それに対し、松井一郎大阪府知事（当時）はツイッターに「表現が不適切だと

しても、大阪府警の警官が一生懸命命令に従い職務を遂行していたのが分かりました。出張ご苦労様」と投稿した。

DHC テレビジョン「ニュース女子」

2017年1月、東京メトロポリタン(MX)テレビジョンが放送したDHCテレビジョン制作の「ニュース女子」が、高江のヘリパッド建設に反対する市民に報酬が支払われていると報じた。金銭を渡しているのが「のりこえネット」の辛淑玉さんだとし、「暴力や犯罪行為もいとわない者らによる基地反対運動を、辛さんが経済的に支援し、あおった」とする内容だった。

辛さんがDHCテレビジョンに対し名誉棄損を理由に損害賠償請求を訴えた裁判の判決が4月26日、確定した。最高裁第2小法廷(岡村和美裁判長)はDHC側の上告を棄却。DHC側に辛さんへの賠償金の支払いと謝罪文のネット掲載を命じる1・2審の判決が確定した。

重なる差別 「国家の敵」をたたく大衆の「正義」

勝訴判決の確定を受けて、5月1日辛淑玉さんは東京都内で会見し、「番組は沖縄の平和運動をたたくため、在日朝鮮人女性という私の出自を利用してデマを流し、いくつもの差別が重なっていた」と指摘。「MXやDHCは、沖縄の人たちに謝るべきだ」と訴えた。そして、「インターネットでの嫌がらせの量がすさまじかった。大衆が『正義』のため『国家の敵』をたたく、その標的とされた。逃げ場がなく、本当にきつかった」と振り返った。

この国の政治が「沖縄ヘイト」を巻き起こしていることを端的に表現した言葉だ。

5月10日、辛淑玉さんは那覇市役所前を訪れ、「沖縄カウンターズ」の参加者らと勝訴の喜びを分かち合い、相互に感謝と敬意を伝え合った。

規制委の「活断層なし」判断について

川原 登喜の

原子力規制委員会は3月3日、志賀原発の新規制基準適合に関する審査会合で、敷地内断層について有識者会合の「活断層否定できず」という結論(2016年3月)を覆して「活動性なし」の判断を下しました。

北陸電力は有識者会合の上載地層法と2020年の審査会合から鉾物脈法を併用してきました。鉾物脈法自体の信頼性や、上載地層法と併用する立証方法の妥当性など、専門家から疑問の声が上がっています。加えて並行して審査が進む敷地近傍断層については、原子炉東側わずか1キロを南北に走る福浦断層など4本の活断層の存在を北電は新たに認めています。また、福浦断層よりも原発に近い「断層O(オー)」についても活動性を巡る審査が続いています。

活断層に囲まれながらも敷地内の36本の断層は「連動して活動せず」と言えるのか、より慎重な審査が必要なはずです。

今後も約80項目に及ぶ審査が控えています。

今回の「活動性なし」の判断は北電が昨年暮れに公表した「2026年1月再稼働」想定ともリンクする絶妙なタイミングです。電気料金値上げ問題は、志賀原発の再稼働に向けた安全対策工事費の公開せざるを得ませんでした。志賀原発の発電コスト問題や再稼働の

地元了解と密接に関連する原子力防災・避難計画の不備などの問題もあります。

適合性審査はまだ入り口段階です。原発の60年超運転を認めた規制委員会です。規制委の独立性・専門性に対してさらに厳しい監視が必要です。

毎日新聞が、今回の規制委判断について東京学芸大の藤本教授からの「上載地層法は広い範囲を見るのに対し、鉾物脈法は薄片という非常にピンポイントな情報を集める。鉾物脈法は、あくまで他の方法は使えない場合のみ使うもので、二つを並列に使うのはどうか」とのコメントを紹介し、深堀しているのは素晴らしいと思います。

